

住民支援の記録映画 秋田・八森町

白神山地とハタハタと



ジャズミュージシャンの坂田明さんは、八森小の児童たちとミジッコの観察に熱中。昨年9月の撮影風景

に歌われたハタハタの海に囲まれた町。こうした環境と生活をもう一度見つめ直し、町の再生を考えようと、町観光総合計画策定に携わった映画プロデューサーの山下勉さんの呼びかけで、映画製作がスタートした。

住民有志の「記録映画製作を支援する会」（工藤秀美会長）も撮影過程やスタッフを紹介する広報紙の配布、交流の場づくり、資金集めの募金、撮影協力と全面的にバックアップした。

作品は「白神と八森を語る人になろう」をテーマに、地域学習を続けている八森小

の児童たちの姿を中心に、ブナ原生林やミジッコの観察、ブナ腐葉土から採れた自然酵母のパン作り教室のほか、厳寒のハタハタ漁、地元のお祭りなどを収録。

社会派ドキュメンタリー作品で知られる小池監督、ベリン映画祭国際シネクラブ賞受賞作「アレクセイと泉」を撮った一ノ瀬正史さん、ミジッコ研究家でもあるジャズミュージシャンの坂田明さんも参加して行われた撮影は昨年未で終了し、三月の完成を目指して編集作業が続いている。

支援する会の奈良聡子事務局長は「この土地で育った私たちも見逃していた有形無形の宝物がぎゅっしり詰め込まれた作品です」とアピールしている。

問い合わせは記録映画製作を支援する会 ☎0185・77・2221。

世界遺産・白神山地とハタハタを守り、町との共存を模索しようと、秋田県八森町を

中心に十三年六月から撮影が
続けられた記録映画「白神の夢」（小池政征人監督）が今春、完成する。
同町は白神山地と秋田音頭